



白虎

スポーツを通して 若者の交流と 町のPRに奮闘中！

平成20年に上毛町地域づくり活動団体として認定された白虎。スポーツを通して、若者の交流を深め、少しでも多くの方に上毛町に足を運んでもらうために、バレーボール大会の企画、運営をはじめ、さまざまなイベントに参加するなど精力的に活動しています。

「New Country杯」を 開催したきっかけは

白虎として活動を始めて今年で11年になります。

約12年前、地元に戻ってくると若者が少ないと感じました。若者が遊ぶ場所もなければ、集まる機会もありません。この町で若者が気軽に集まり、意見交換などができる場所をつくりたい。何か新しいことを始めたいと思いました。そこでまず男女ともに楽しめるバレーボールを通じてメンバーを集める事にしました。

しかし、当時は男女混合バレーボールという競技の認知度が低く、まして地域も年齢もバラバラの自分たちのようなチームが出場できる大会はありませんでした。「同じように悩んでいる人たちもいるのではないか、それなら自分たちで開

目標は上毛町で全国大会を 開催すること

これからの活動については、新規チームの参加を増やす事、それに伴い若手メンバーを育成し大会を継続していく事です。遠方からの参加者も増え、宿泊施設などについても問い合わせが寄せられるようになりました。目標である上毛町での全国大会開催に向けて周辺施設との連携などにも積極的に取り組んでいきます。また、大会の知名度が上がるにつれ、どのチームも勝つ事を目標に練習を重ねているようで、レベルも高くなってきました。とても嬉しいことですが、反対に未経験者チームなどが参加しにくい状況になってきているのも確かです。これからはどのチームも楽しんで参加できるように会場設定や対戦方法などを考えて行きたいと思っています。

バレーを通して年齢や職種の違った人たちと交流し、経験することで膨らんできたチームの輪を一つひとつ繋いで、より良い大会が開催できるようにがんばっていきます。このほか、白虎は上毛祭に参加するなど、町を元気にする活動にも積極的に参加しています。何か手伝えることがあればぜひ声をかけてください。これからも白虎の活動に応援よろしくお願いします。



大会毎に結束力が増していく

地域づくり活動団体に認定された頃、9名だったメンバーも今では約30名が活動しています。記念すべき第1回大会は16チームが参加、ほとんど地元のチームが主体でした。大会を開催する度にたくさんの問題点や反省点が見つかりました。試合進行がスムーズに行かず、予定通りに終了しない。スタッフが足り



ず、いつもバタバタしている。ゴミの片付けまで気が回らない。競技ルールの統一が難しく、ルールブックなどを作成しているが周知が至らず、審判の判断がバラバラになってしまふ。大会会場が田舎で周囲に目印になるものがないので場所を伝えるのが難しい。交通の手段が限られている。いざ当日になると抜けている部分があるなど、参加チームに迷惑をかけることも多くありました。今回で11回目の開催になりますが、毎回違った試みをするという目標があります。そのため会議が深夜に及んだりメンバーの負担も多いのですが、問題や反省を抱えた中で自分で考えて動く事がかえって楽しく、チームの結束力を高めていることが解りました。

大会を通して自分も成長 していく

2月23日(日)、遠くは長崎県から26チーム、約300人が参加し、第11回「New Country杯」を開催しました。参加チームの募集はホームページやフェイスブックを活用する他、これまでの大会に参加してくれたチームが他のチームを紹介してくれるなど大会を通して仲間の輪が広がってきています。

白虎では毎年、メンバーの成長を図るために実行委員長を交代しています。リーダーになる事で全員が運営を把握できるようになり、また役割などを引

き継ぐ事によりコミュニケーションもとれて、チームがひとつにまとまってきました。

参加したチームからは「また参加させていただきたい」「大会を通して他チームとの交流ができた」「白虎が主催する大会は、しっかり準備ができているから参加しやすい」「この大会をチームの目標にしています」「この大会に出場するためチームを結成しました」といった嬉しい声をいただくようになりました。

上毛町を訪れた参加者は福岡県のどこかわからない、初めて上毛町という町名を知る方がほとんどでした。そこで毎回、景品に町の特産品を用意しPRに努めています。獲れたての野菜や加工品は大好評です。また地元のNPO団体などに協力してもらい、地元食材で軽食を振舞っています。「以前は通りすがのだけの場所だったけど今では足を運ぶ場所になった」「新聞で上毛町が載っていると読んでいます」と言われるようになりました。白虎メンバーの中にもこの大会に出場するためだけに東北や関東などから帰省している人もいます。何よりメンバー自身が上毛町を知って好きになっています。